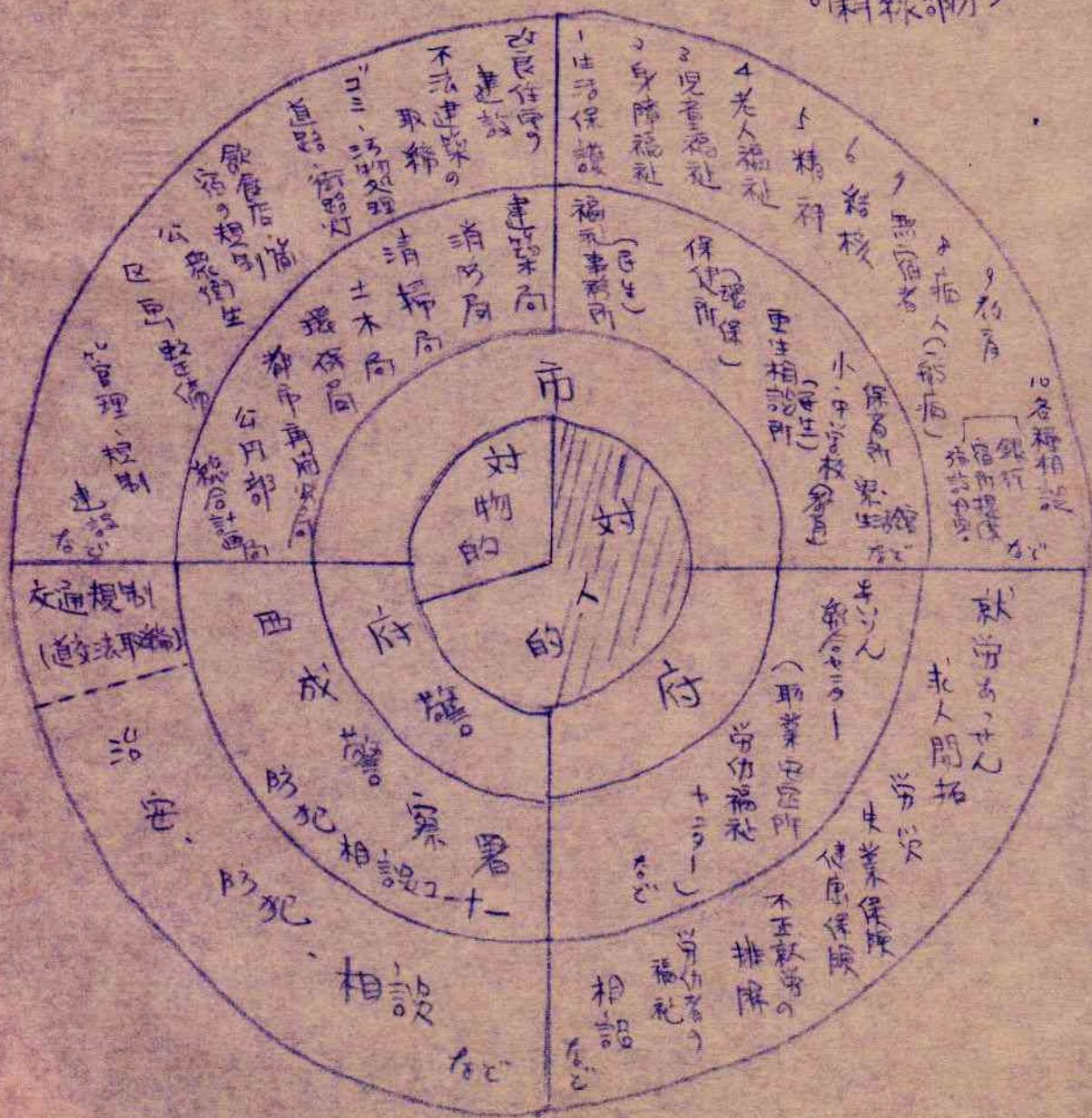


第4章 愛隣対策の現況

○ <窓 口 >

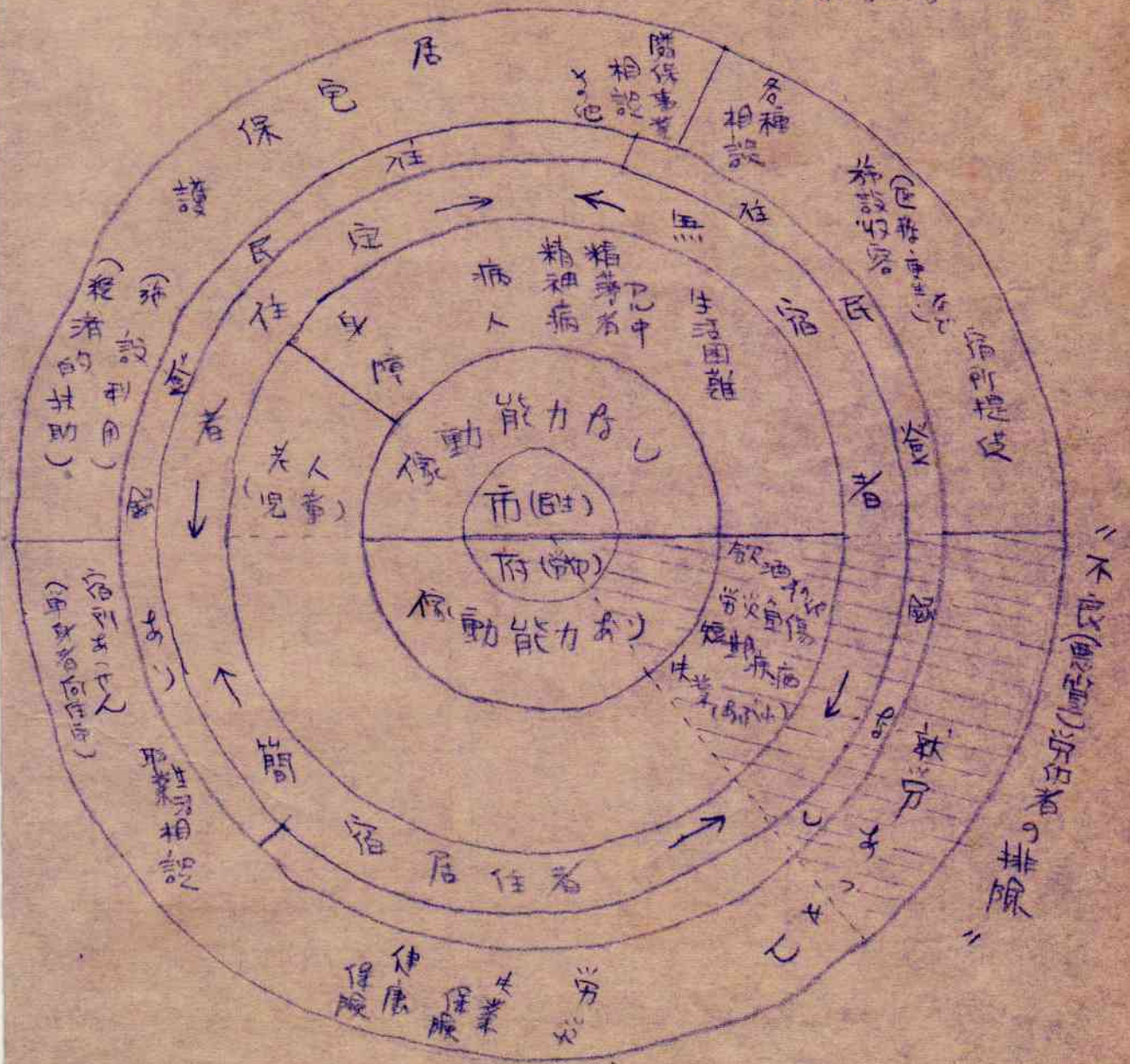
1. 愛隣地区対策の行政負担概要図

・科報部所



对人的施策 (劳动、民生) の概要図

- 別表論は接史(内閣)
- 府廳対象は除く



オノ節 大阪府

5ノ 愛隣線后セニター発足

43年1月から西成区西入船町(国鉄新島宮駅南側)に建設を急いでいた愛隣線后セニターが完成し、46年10月1日から開館した。

愛隣地区の対策については、昭和36年の暴動事件を契機に、大阪府、大阪市および大阪府警察本部の三者で愛隣地区対策連絡協議会を設け、就労の安定、環境の改善、民生福祉の向上など各種の対策にあたることになった。一方、国においても、昭和41年に不良環境地区対策についての基本構想が示され、これにもとづいて地元で愛隣対策緊急5ヶ年計画を立て、そのオノ次計画として、このたびは労働省、大阪府、大阪市および雇用促進事業団の四者が共同して「愛隣線后セニター」の建設を実施した。

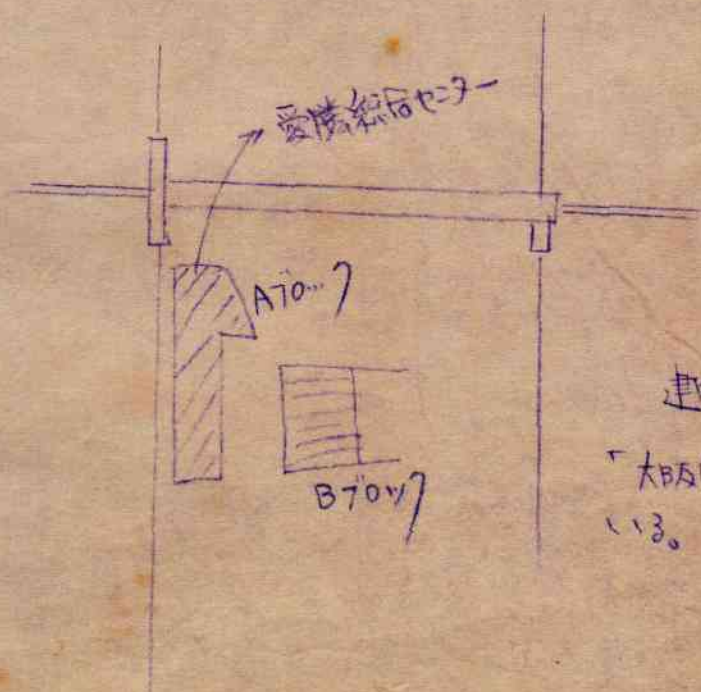
この「愛隣線后セニター」は、当地区においてもとも緊急に解決を必要とするいわゆる「青空労働市場」の解消を図るための施設、労働者の福祉施設、各種

疾患者のための医療施設および不良住宅の改良を図る
ための施設で、その内容は、労働施設、病院および改
良住宅を包摂した総合施設である。

この施設の特色はすでに述べたように四者の共同事業
として建設したことにあり、国と地元が一体となって推
進する都市再開発事業のモデルとして、また人間尊重、
社会開発の観点からも意義深いものであり、ホ一次計画
の達成により、当地区の各種関連事業が大きく整備促進
されることを期待する。

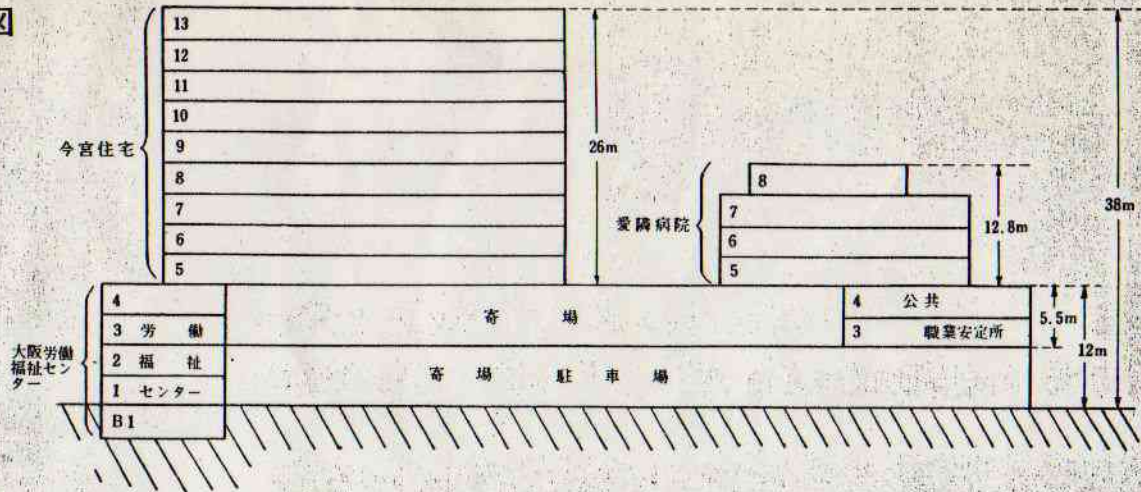
建築面積 → およそ3000㎡の鉄骨鉄筋コンクリート造

建設費 → 約22億2500万円



建物の管理は、府の外郭団体
「大阪府勤労者福祉協会」が担当
している。

立面図



各施設床面積表

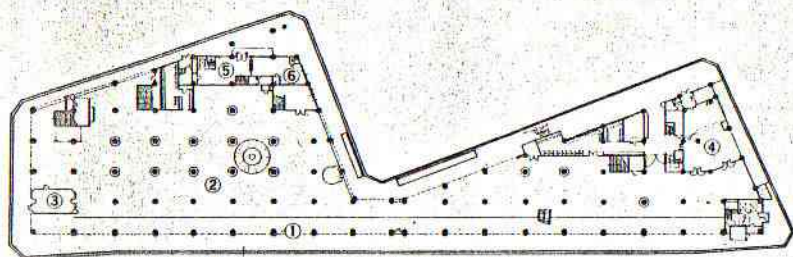
(単位 m²)

階	大阪労働福祉センター	愛隣病院	今宮住宅	共用室	電気室	共用室	合計
R			71.2				71.2
13			905.2				905.2
12			905.2				905.2
11			905.2				905.2
10			905.2				905.2
9		62.4	905.2				967.6
8		334.6	905.2				1,239.8
7		997.0	905.2				1,902.2
6		997.0	905.2				1,902.2
5		997.0	902.4				1,899.4
4	762.9						762.9
3	4,748.8	77.4	66.8		103.0	154.9	5,150.9
2	416.7	223.3					640.0
1	4,088.1	177.7	89.2	45.7			4,400.7
B	504.4		143.5				647.9
計	10,520.9	3,866.4	8,514.7	45.7	103.0	154.9	23,205.6

施行業者

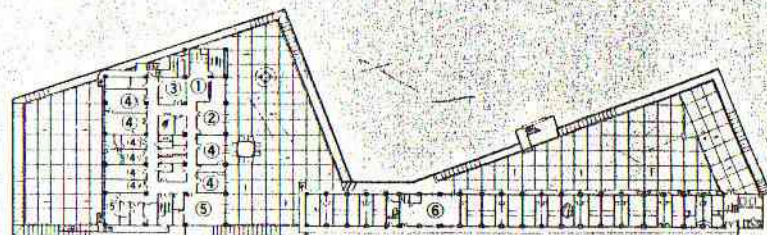
設計管理 株式会社 東畑建築事務所
 本体工事 株式会社 奥村組
 電気設備 近畿電気工事株式会社
 機械設備等 三建設備工業株式会社

1階平面図



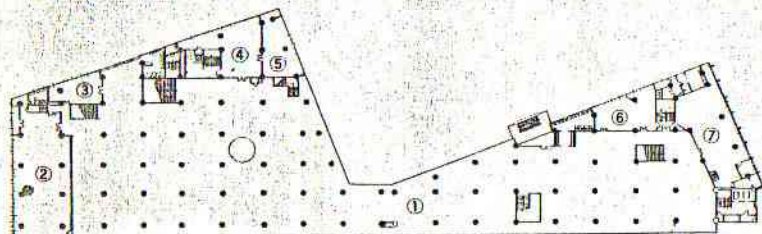
- ①駐車場 ③肺所 ⑤病院玄関 ⑦住宅玄関
- ②待合室 ④食堂 ⑥病院救急

5階平面図



- ①ホール ③事務室 ⑤中央検査室 ⑦住宅
- ②薬局 ④診察室 ⑥集会室

3階平面図



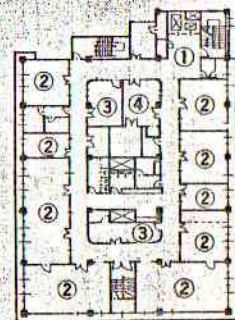
- ①待合室 ③待合室 ⑤電気室 ⑦労働福祉センター事務室
- ②職安事務室 ④ボイラー室 ⑥検査室

6階平面図



- ①ホール ④院長室 ⑦エレベーター
- ②更衣室 ⑤手術室 ⑧食堂
- ③医務室 ⑥検査室

7階平面図



- ①ホール ⑧集会室
- ②待合室
- ③エレベーター

○ 労働施設

求人者と求取者が路上で直接就労の取り合をするいわゆる青空労働市場を解消し、正常な労働秩序を確立するため建設するもので、公共職業安定所、労働福祉センター、労働者寄場及び駐車場がうなっており、1階は就労あっ旋を行なう寄場と駐車場で、寄場には約2千人の労働者が集合でき、100台の求人車が駐車できるようになっている。3階は、北端に「あいりん公共職業安定所」、南端に「田成労働福祉センター」を設置し、中央は寄場となっており、500人の労働者を収容することができる。

○ 医療施設

地域住民の保健と福祉の増進のため、愛隣地区の医療対策は、医療人口、数多な疾患とへの生活実態に対応できる機能をもち、診療施設が特に望まれ、なかでも緊急患者の診療や医療ケースワークの充実した病院が必要であることから労働施設の北側屋上に5階から6階までの4階建て建設するもので、診療科目としては、内科、外科、小児科、精神科、皮膚科、泌尿

器科、レントゲン科及び整形外科等の小科とし、入院設備としては100ベットを備えている。

○ 住宅施設

この住宅は、住宅地区改良事業として建設される改良住宅（亦々種市管住宅）である。労働施設の南側屋上に建設される地上5～13階の9階建の高層耐火住宅で、敷地の南西隅からエレベーターで直接5階から各階へ出入りできる。建設戸数は177戸で、その他車庫、管理室等が設置され1戸当たりの間取りは、6畳、4.5畳、ダイニングキッチン、水洗便所、物置（浴室として使用可能）（2DK）となっている。

(旧大阪造形芸術専門学校)

あつりん取安



場所移転

西成労働福祉センター



済生会今宮診療所



大阪社会医療センター

市管今宮住宅



市管萩、茶屋住宅

(昭和44年建設)